必ずお守りください。 安全上のご注意

⚠警 告

<アルカリ電池について>

(1)ショート、充電、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

<掛け具について>

掛け具を保管する際には、お子様の手の届かない場所へ保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注 意

<掛け方について>

時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。

OK!

※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の木ねじをご使用ください。

石膏ボードの壁に掛けるとき
添付の掛金具、釘をご使用ください。

コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。
※市販の掛け具によっては正しい掛け方ができない場合があります。<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

⚠注 意

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1)⊕⊖を正しく入れてください。

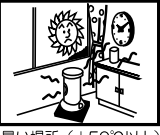
(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液もれ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。

(3)充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。

(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。

(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。

(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。

(7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

必ずお読みになってからご使用ください。 使用場所・お手入れ

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

●温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。

暑い場所（+50℃以上）

●温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
［プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。］

●塵、埃の多い所。
［空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。］

寒い場所（−10℃以下）

●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
［磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。］

振動の激しい場所

●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

●振動のある所。不安定な所。

●工場、台所など多くの油を使用する所。
［霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。］

湿気の多い場所

●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。

●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

●電波ノイズを発生させるものの近く。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い所など電波障害の起きる所。
乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

●スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

製品仕様

●精　　　　度：平均月差±20秒
（電波受信による時刻修正を行なわない場合）
（気温5℃から35℃で使用した場合）
●使用温度範囲：−10℃〜+50℃
●使　用　電　池：単2アルカリ乾電池4個(JIS規格LR14)
●電　池　寿　命：約1年
（1日につき音量（中）の状態でメロディを16回鳴らした場合）
●電波受信機能：自動受信
・毎日午前2時にすべての信号（カレンダー/時刻）を受信します。以後3時間ごとに「秒」のみの補正を繰り返します。
・受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。
手動受信
※2つの電波（40kHz、60kHz）のうち、最適な一方を選択し、受信します。
●受信結果確認機能：ボタン操作により受信結果をLEDライトで表示
●時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット
●時　　　　報：毎正時（0分）にメロディ演奏とパフォーマンス曲自動切替
・3つのジャンル（各6曲、計18曲）から1ジャンル（6曲）を設定
●光センサーによる
自動秒針停止機能：暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。
●光センサーによる
自動鳴り止め機能：暗くなると報時を停止します。
●音　量　調　節：無段階式

※指針（針の表示）誤差について
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。
秒針、分針、時針共通：±2度以内
（1分単位の目盛がある場合は1/3目盛相当以内）
※上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証・アフターサービス

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。

●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。

●保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

●この時計の修理用部品は、7年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。

●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買い上げ店にご持参ください。

●ご不明の点はお客様センターにお問い合わせください。

SEIKO

掛時計

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

（例：AMOOO、PWOOO、KROOOなど）

お客様センター　フリーダイヤル　0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp

発売元
セイコークロック株式会社

Ⓣ　説明書番号　ARE-046J

故障かなと思ったときには

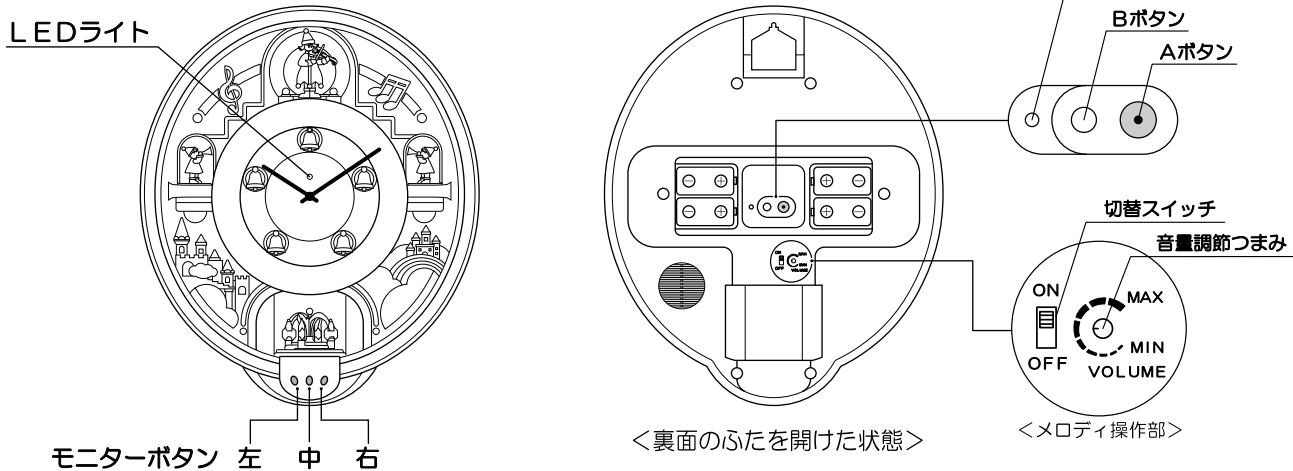
製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。

新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　　置
針が動かない	・電池が入っていない。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。
	・電池が正しい向きで入っていない。	・電池を入れ直してから確実にリセットボタンを押してください。
	・電池端子や接片が汚れている。	・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2〜3回まわして、リセットボタンを押してください。
	・静電気などによりマイコンが誤作動している。	・リセットボタンを押してください。
	・手動受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	・手動受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している	・暗くなり光センサーが作動している。	・室内を明るくすると秒針が動き始めます。
	・自動受信中である。	・受信が終了すると秒針が動き始めます。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信に成功していない。	・裏面「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。
	・きちんとリセットされていない。	・確実にリセットボタンを押してください。
回転飾りが動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。
	・電池端子や接片が汚れている。	・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2〜3回まわして、リセットボタンを押してください。
	・時計がかたむいている。	・時計を水平に掛けてください。
メロディが鳴らない	・切替スイッチが OFF になっている。	・スイッチを ON にしてください。
	・音量が下がっている。	・音量を上げてください。
	・暗くなり光センサーが作動している。	・時計周囲が明るくなると鳴ります。照明をつけている場合でも時計周辺が暗くなるとメロディは鳴りません。
	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。
メロディが途中で止まる	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。

ご使用方法

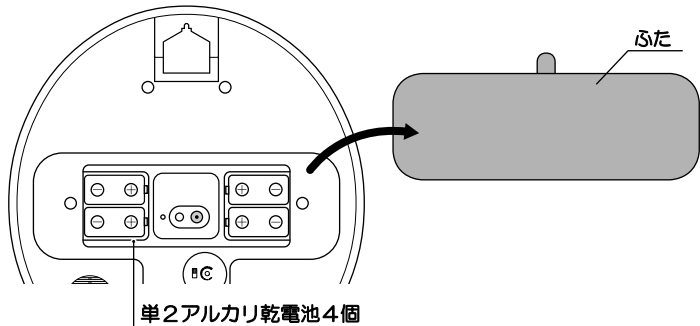
■ 操作部 時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。

<裏面のふたを開けた状態>　<メロディ操作部>

ご使用の前に付属品をご確認ください。

●単２アルカリ乾電池４個　●取扱説明書（本書）１枚　●保証書１枚
●掛け具（①木ねじ１本➡木の厚い壁・木の柱専用
　　　　　②掛金具１個、釘５本（うち１本は予備）➡石膏ボードの壁専用）

■ ご使用方法

１．電池を入れてください
（単２アルカリ乾電池４個）

裏面のふたを開けて電池を入れてください。
⊕⊖をまちがえないように注意してください。

２．リセットボタンを押してください

リセットボタンを先端の細いもので押してください。
受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

●秒針が「１２時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。
（1:50、3:10、5:50、6:10、8:30、9:10、11:10、12:10）

●受信中（最長約２０分間）はＬＥＤライトが受信状態に応じて点灯します。
（右記「■受信状態について」をご覧ください。）

<受信に成功した場合>
ＬＥＤライトが消灯し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「０秒」になると同時に秒針が動き出します。

<受信できなかった場合>
ＬＥＤライト消灯後、ただちに針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。
右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注）**電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。**

３．ふたを閉めてください

裏面のふたを元の位置にはめこんでください。

４．メロディを設定してください

① 3つのモニターボタン（左・中・右）の中から、毎正時に鳴らしたい曲のジャンルを選択し、ボタンを押してください。
（設定後、選択したモニターボタン以外を押すと設定が変更されますのでご注意ください。）
●３つのジャンル（各６曲、計18曲）から１ジャンル（６曲）を設定できます。
●メロディは正時ごとに切り替わります。

② メロディ操作部の切替スイッチをＯＮまたはＯＦＦにしてください。
ＯＮ　：毎正時にメロディ演奏とパフォーマンスを行います。
ＯＦＦ：毎正時になってもメロディ演奏もパフォーマンスも行いません。

●光センサーによる自動鳴止めについて
暗い所では、報時は致しませんので、メロディやパフォーマンスを気にすることなくおやすみになれます。

③ メロディ操作部の音量調節つまみをまわして、音量を調節してください。
ＭＡＸ：音量　最大
ＭＩＮ：音量　最小

５．時計を設置してください

本機を使用したい場所に設置してください。
この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

■ 使用上のご注意

●指針（針の表示）誤差について
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。
秒針、分針、時針共通：±２度以内（１分単位の目盛がある場合は１/３目盛相当以内）

●海外でのご使用について
この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外では電波修正機能のご使用はできません。
右記 その他の機能 「■自動受信を止めるには」をご参照のうえご使用ください。

●電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

その他の機能

■ 受信状態について

リセット後の受信中、または手動受信中は、以下のようにＬＥＤライトの色によって受信状態を表示します。
ただし自動受信中はＬＥＤライトは点灯しません。

ＬＥＤライトの状態	受 信 状 態
"緑"が点灯	電波状態が良く受信可能
"緑"が点灯し、たまに"赤"が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
"赤"と"緑"が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
"赤"が点灯し、たまに"緑"が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
"赤"が点灯	電波状態が悪く受信不可能 （受信開始後最初の約２秒間は必ず"赤"が点灯します）

■ 受信結果について

通常ご使用中にＡボタンを1回押す（２秒以下）と以下のようにＬＥＤライトの色によって電波受信結果を表示します。
"緑"が点滅：２４時間以内に受信に成功しています。
"赤"が点滅：２４時間以内に一度も受信できていません。

■ 自動受信について

毎日午前２時に２つの電波（４０kHz、６０kHz）のうち、最適な一方を選択し、すべての信号（カレンダー/時刻）を受信します。以後３時間ごとに「秒」のみの補正を繰り返します。
●受信中(最長約２０分間)は針が不規則な動きをすることがあります。
秒針：１２時の位置で停止
分針：約３０秒毎に運針

■ 電波が受信できなかった場合

１．電波を手動で受信させ、時刻を合わせる

ＡボタンをＬＥＤライトの"赤"が点灯するまで（約２秒）押し続けると、針が停止し受信を開始します。受信に要する時間は、最長約２０分間です。
●受信中は、ＬＥＤライトが受信状態に応じて点灯します。
（上記「■受信状態について」をご覧ください。）
●受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。
●詳しくは 電波クロックについて をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

２．手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。
① Ｂボタンを秒針が早送りするまで(約2秒)押し続けてください。秒針が「１２時の位置」で停止します。
② Ａボタンを１回押すと、分針を１分送り、押し続けるとボタンを放すまで、送り続けます。
③ Ｂボタンを押すと同時に、針が動き出します。

■ 受信中・報時中の操作について

受信中・報時中の操作は以下のようになります。

操作／動作	鳴り止め（ON→OFF）	試し鳴らし（モニター）	手動受信	受信結果表示
報時中	メロディが鳴り止まる	次の曲を演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
試し鳴らし中	メロディが鳴り止まる	次の曲を演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
自動受信中	――	メロディを演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
手動受信中	――	メロディを演奏する	――	無　効

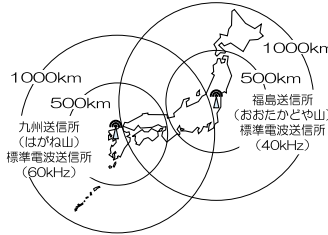
■ 試し鳴らし（モニター）について

モニターボタンを押すと、時刻に関係なくいつでもパフォーマンスを行います。また、モニターボタンを押すごとに曲が切り替わり、曲を順に聞くことができます。
※メロディ設定後、選択したモニターボタン以外を押すと設定が変更されますのでご注意ください。
●試し鳴らしを途中で止めるときは、メロディ操作部の切替スイッチを一旦ONに合わせてからＯＦＦにしてください。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは
情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について
標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西２ヶ所）からおおむね１０００km～１２００kmです。この製品は４０kHz（東・福島送信所）、６０kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

■ご注意
●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
●標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。
（ホームページアドレス http://www.seiko-clock.co.jp）

■使用場所について
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
●ビルの中、ビルの谷間、地下。
●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
●工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
●その他電波ノイズを発生させるものの近く。
●スチール机等の金属製の家具の上や近く。

■ 光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針が「１２時の位置」で停止します。明るくなると「０秒」に合わせて秒針が動き出します。
●秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

■ 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）
① 電池を入れてリセットボタンを押した後に、ＡボタンをＬＥＤライトが点滅をはじめるまで（約７秒）押し続けてください。
② 秒針が「１２時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止します。
（1:50、3:10、5:50、6:10、8:30、9:10、11:10、12:10）
③ 秒針が動き出したら、左記「■電波が受信できなかった場合　２.手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
●この機能を設定した後もＡボタンをＬＥＤライトの"赤"が点灯するまで（約２秒）押し続けると手動受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
●この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。
注）通常ご使用の状態で自動受信を止めるには、ＡボタンをＬＥＤライトの"赤"がいったん点灯し、その後消灯するまで（約７秒）押し続けてください。

■ 回転飾りの動かしかた

電池をセットすると、自動的に回転飾りが動き始めます。
斜めに掛けたり、水平でない所に設置すると、回転飾りが動かない場合があります。